

経営の多角化による地域農業の活性化への取組 ～有限会社クリーンファーム日吉（岐阜県養老町）～

経営体の概要

設立年度：平成18年
基幹作物：小麦、大豆、小松菜
経営面積：52ha

現在：令和6年
基幹作物：水稻（主食用米、飼料用米）
小麦、大豆、キャベツ、小松菜
経営面積：145ha

土地改良事業による生産基盤（農地、農業水利施設等）の変化

【当初】

● 基幹的農業水利施設である頭首工の機能が低下。

● 幹線水路等は施設の老朽化により用水の安定的な供給に支障。



継ぎ目から地下水が流入している状況

【現在】

● 国営かんがい排水事業「西濃用水第二期地区」（H21～H26）により基幹的農業水利施設の改修が行われ、安定的に農業用水を供給。

● 続いて「西濃用水第三期地区」（R6～R15）により第二期地区での未改修施設の老朽化対策と耐震化対策を行い、用水の安定供給と農業水利施設の維持管理の軽減を図り、農業生産性の維持と農業経営の安定を目指している。

営農改善、経営転換等のポイント

①栽培技術の確立・向上

国営土地改良事業等により農業用水が安定的に供給され、排水性も高まったことで多品目の作付けが可能となり、経営の多角化が図られた。大豆栽培において、最も水を必要とする開花時期に、農業用水を利用したうね間かんがいを実施し、収量向上につながっている。また、大豆の狭畦栽培にも取り組み、作業の省力化を図るとともに更なる収量増加を目指している。



クリーンファーム日吉の皆様

②省力化

水稻栽培において、育苗箱1箱に播種する種籾の量を増やし、1箱当たりの苗立本数を増やす「水稻密播疎植栽培」に取り組んでいる。その結果、育苗箱と苗の補給回数が少なくなり、作業の省力化が図られた。さらに、病害虫防除にドローンを用いて作業の省力化を図っている。これらの工夫により、限られた人数でも大規模なほ場の管理を可能としている。



ドローンによる農薬散布

③年間を通じた安定収入の確保

年間収入の確保を図るため、ハウス小松菜の周年栽培に取り組むとともに、地域の女性や高齢者の雇用の創出に貢献している。周年栽培においては、夏季の高温による生育不良等の課題があったが、耐暑性品種の導入により周年栽培を可能とした。



ハウス小松菜

事業概要

事業種：国営かんがい排水事業
関係市町：岐阜県大垣市外6町
受益面積：4,928ha
事業期間：令和6年度～令和15年度
事業目的：農業水利施設の改修及び耐震化
主要工事：頭首工改修2か所、用水路改修 L=15.3km
水管理施設改修一式

位置図



<問合せ先>

東海農政局
農村振興部農地整備課
課長補佐（競争力強化事業推進）・営農指導係
電話：052-223-4638

（令和6年度調査時点）